

学校名	信里小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 62名		
(1) テーマ 「私のできる環境配慮行動」 EM研究：ゴミの再利用 花壇作り：環境美化活動 テーマの分類（ -ウ ） 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他（6年を中心とする全校 ） 該当学年 平成12年度 6年		
(3) 活動のねらい 環境を護る心情を豊かにしながら、日常生活の中で、自分のできる環境配慮行動を率先してできる力を付ける			
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）5年時より2年間 ・調べ学習：環境問題の実際（身近な環境問題、地球規模の環境問題、配慮活動）をPC電話、街角アンケートなどで調査した。 ・自分のできる配慮行動を考え、みんなでEM研究をスタートさせた。給食の残飯を有効利用できないかEMの効果調査 報告 全校に広がる ・エコクラブ加入で地域に貢献できる活動に参加 ・花壇作り：FBCでの学校花壇 種まき～花作りまで 地域の方々に花の苗を配る 地域に花壇を作り育てる（長野県 優良賞受賞） ・活動報告：沖縄・長野市内の学校と交流しながら活動の意義を再確認する ・ケナフでの紙作り 時数（5年次：30 6年次：50）			
(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等） 一昨年（情報機器の活用）昨年（総合的な学習の時間を志向した学級会活動）と全校テーマを関連的に据え、全職員共通理解のもと、実施してきた。 対外的には、エコクラブや緑の少年団に属し、個人が賛同できる活動には参加してきた。参加に当たっては、保護者の方々の理解協力の上で実施できた。			
(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等） できる限り問題解決学習の方法を取り入れ指導した。 花栽培は時期が限定されるので、その時期の合わせカリキュラム編成を組み替え、意識の強化、連続をはかった。情報活用能力育成を計画的に行った。当該学年保護者を中心に趣旨説明し、協力を頂いた。			
(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際） 特に評価については考えていないが、各児童の課題に対して、どのように追究したか、追究の課程でどのような力がついてきたか、どのような力を付ける必要を感じるか等を吟味した。評価については検討中であるが以上の観点を保護者に知らせている。			
(8) 成果と課題 ・課題を追究し分かったことをまとめる段階までは、たいへん意欲的にできるが、発表の段階では、やや相手意識に欠けたり、スキルに不足点が見られる実態が見えた。 ・学級会活動では、構想 追究 発表 振りかえりの各段階に分けて実施すると子どもの意識も継続できることが見えてきた ・対内外で好意的な評価を頂き、関わった学年児童はたいへん満足感がもてた。 ・活動で大切に考えたいことは、どのような活動をしたかではなく、どのような心の体験をしたかであるということが、職員で共通理解でき、学校の特色作りに反映できそうである			

テーマの分類 横断的・総合的な課題（ -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題